



## トランスレーションパターンの設定

- [トランスレーションパターンの概要 \(1 ページ\)](#)
- [トランスレーションパターンの要件 \(1 ページ\)](#)
- [トランスレーションパターンの設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)

### トランスレーションパターンの概要

変換パターンを設定して、任意のタイプのコールの数字を操作することができます。トランスレーションパターンは、ルートパターンと同じ一般規則に従い、同じワイルドカードを使用します。ルートパターンと同じように、トランスレーションパターンをパーティションに割り当てます。ただし、ダイヤルされた数字がトランスレーションパターンと一致する場合、Cisco Unified Communications Manager は、ゲートウェイなどの外部エンティティにコールをルーティングしません。代わりに、まず変換を実行した後、トランスレーションパターン内で設定されたコーリング サーチ スペースを使用して、コールを再度ルーティングします。

### トランスレーションパターンの要件

変換パターンを設定する前に、次のタスクを実行する必要があります。

- [パーティションの設定タスク フロー](#)
- [コールルーティングの設定タスク フロー](#)



(注) 選択したパーティション、ルートフィルタ、および番号計画の組み合わせを使用するトランスレーションパターンが固有であることを確認してください。それには、ルートパターン/ハンドパイロット、トランスレーションパターン、電話番号、コールパーク番号、コールピックアップ番号、またはミーティング番号の設定ウィンドウを確認して、重複するエントリがあることを示すエラーを受け取っていないかどうかを調べます。

# トランスレーションパターンの設定タスクフロー

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<a href="#">トランスレーションパターンの設定</a> (2 ページ)	コールされてからコールをルーティングされる方法を指定するには、トランスレーションパターンを設定します。

## トランスレーションパターンの設定

ダイヤル文字列がパターンと一致したときに、コール番号と呼び出された番号に桁操作を適用するように変換パターンを設定します。システムは数字の変換を完了してから、コールを再ルーティングします。

## 手順

- 
- ステップ1** Cisco Unified CM Administration から、[**コールルーティング (Call Routing)**] > [**トランスレーションパターン (Translation Pattern)**] を選択します。
- ステップ2** 次のいずれかのオプションを選択します。
- 新しいトランスレーションパターンを追加するには、[**新規追加 (Add New)**] をクリックします。
  - 既存のトランスレーションパターンを選択するには、[**検索 (Find)**] をクリックします。
- ステップ3** [トランスレーションパターン (Translation Pattern)] フィールドに、このパターンを使用するダイヤル文字列と照合するパターンを入力します。
- ステップ4** [パーティション (Partition)] ドロップダウンリストから、このパターンを割り当てるパーティションを選択します。
- ステップ5** [トランスレーションパターンの設定 (Translation Pattern Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。
- ステップ6** [保存 (Save)] をクリックします。
-